

問1 白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に敗れた日本は、大陸からの侵攻に備えて国防を強化しました。その際、九州の大宰府を守るために築かれた土塁と堀の名称、および九州沿岸の警備について兵士の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。

（2024年 香川公立入試 類似）

1. 水城（みずき） — 防人（さきもり）      2. 多賀城（たがじょう） — 健児（こんでい）      3. 屋島城（やしまのき） — 東山道兵      4. 山城（やまじろ） — 武士（ぶし）

問2 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が603年に定めた「冠位十二階」の制度は、それまでの「氏姓制度」による官職のあり方をどのように変えようとしたものですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 （2022年 高知公立入試 類似）

1. 家柄にとらわれず、個人の能力や功績がある人物を役人として登用すること。      2. 有力な豪族が代々特定の官職を独占し、世襲することを保証すること。      3. 地方の豪族に対して、領地の支配権を認める代わりに軍役を課すること。      4. 仏教の教えを広めるために、僧侶に対して位階を授けること。

問3 7世紀後半、朝鮮半島で滅亡した百済を復興させるために日本が送った軍が、唐と新羅の連合軍に大敗した戦いを何というか、名称を答えなさい。 （2021年 三重公立入試 類似）

1. 白村江の戦い      2. 壇ノ浦の戦い      3. 桶狭間の戦い      4. 長篠の戦い

問4 日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 （2024年 福井公立入試 類似）

1. 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。      2. それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。      3. 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。      4. 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。

問5 7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みずき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。 （2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 百済      2. 新羅      3. 高麗      4. 渤海

問6 聖徳太子が定めた十七条の憲法の目的や内容について、当時の時代背景を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2023年 岐阜公立入試 類似）

1. 仏教や儒教の教えを役人の道德的規範とすることで、天皇を中心とした国家体制の確立を目指した。      2. 唐の律令制度をそのまま導入し、土地や人民を国家が直接支配する公地公民の原則を確立した。      3. 武士の間で起こる領地争いを公平に裁くため、日本で初めての武家独自の裁判基準を示した。      4. 身分に関わらず才能のある人物を役人に登用するため、位階によって帽子の色を分ける制度を整えた。

問7 7世紀後半、天智天皇の死後にその跡継ぎをめぐって大海人皇子と大友皇子が争った、古代最大といわれる内乱はどれですか。

（2026年 三重公立入試 類似）

1. 壬申の乱      2. 壬生の乱      3. 保元の乱      4. 平治の乱

問8 7世紀中ごろ、唐が朝鮮半島北部の高句麗を攻撃したことにより、東アジアでは国際的な緊張が極限まで高まりました。このような外部からの脅威に対抗するため、日本（倭）において天皇中心の中央集権国家体制を整えようとして行われた一連の政治改革はどれですか。 （2020年 徳島公立入試 類似）

1. 大化の改新      2. 明治維新      3. 公事方御定書の制定      4. 十七条の憲法の制定

問9 聖徳太子（厩戸皇子）が小野妹子を隋に派遣した際、その外交方針や目的として最も適切な記述はどれですか。 （2026年 青森公立入試 類似）

1. 中国の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、大陸の進んだ政治制度や文化を学び取ろうとした。      2. 中国の皇帝から「倭王」としての称号を得ることで、国内の有力豪族を支配する正当性を確立しようとした。      3. 中大兄皇子が進める大化の改新を成功させるため、隋から大規模な軍事支援を取り付けようとした。      4. 天武天皇が定めた律令制度を中国に輸出することで、日本の国際的地位を高めようとした。